



櫛北小だより



学校教育目標「ゆたかな心もち たくましく生きる」

<http://www.kita.m-alps.ed.jp/>

発行：校長室 2019. 12. 4 (No. 7)

ドレミファ発表会おわる

10月31日(木)、秋の恒例行事「ドレミファ発表会」がおこなわれました。

1年生から6年生までが、それぞれ、歌や演奏を中心に発表をしました。多くの保護者の皆様に参観をいただき、ありがとうございました。

保護者の皆様からは、アンケート用紙により、たくさんの感想をいただきました。その感想は、どの行事でもそうですが、職員で回覧して読んでいます。

その内容を見ますと、多くの方から、各学年それぞれの子どもたちの歌や演奏をほめていただきました。1年生には1年生の良さがあり、学年が上がるにつれての良さも感じていただきました。また、子どもたちの聴く姿勢も良かったということや、中学生の合唱がすばらしくて、よい手本になっていることも書いてくださいました。

一方、壁面の学年ごとの掲示がなくてさみしいという意見、なくても気にならないという意見もありました。その他、開催時期や時間設定、イスの配置などについてもご意見をいただきました。

学校の実情としては、授業内容が増えていく中、行事を今までと同じようにおこなっていくことは、とても難しくなっています。市内の学校の中には、合奏をやめて合唱だけの発表にした学校もあります。直接、発表と関係しない部分については簡略にしていく点について、ぜひご理解をいただきたいと思います。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

予告なしの避難訓練

11月18日(月)の昼休みの時間帯、子どもたちは思い思いの場所で過ごしていました。運動場で遊んでいたり、図書室で本を読んでいたり、教室で絵を描いていた。そこへ、緊急地震速報の信号音とともに、訓練による地震発生と避難の放送が流れました。この日は、予告なしの避難訓

練です。子どもたちは、自分で考えて、どういうふう避難をするだろうかと、私は運動場に出てようすを見ていました。

運動場で遊んでいた子どもたちは、遊びをやめて、中央部分に集まり始めました。その場にいた6年生の子どもたちが、手を挙げて先頭に立ち、「〇年生、並んで」と言いながら、5年生以下を学年ごとに整列させはじめました。

校舎から避難してきた子どもたちも、そこに集まってきましたが、6年生の指示により、大きな混乱もなく、全校児童が整列することができました。その場で、いちばん上の学年ということ意識して行動できた6年生のようすは、すばらしいものでした。

全体としては、避難はスムーズにできましたが、私語がめだつたことは反省点として残りました。

教師の指示によって行う避難訓練もありますが、実際のことを想定すると、授業中だけに地震や火災が発生するわけではありません。これからも、予告なしの避難訓練もおこみながら、子どもたちの防災教育をおこなっていきます。

靴をそろえる 無言清掃

楡形地区小中一貫教育の取り組みとして、下足箱の靴をそろえることと、無言清掃への取り組みをおこなっています。

下足箱の靴のそろえ方は、これまで楡形北小学校のそろえ方でおこなってきましたが、徹底していないところがありました。今回、楡形地区の小中学校の統一方法として、靴をそろえて、かかとを下足箱の手前に合わせるといふそろえ方にしました。

また、清掃中に私語をしない無言清掃も行っています。これについては、児童会で呼びかける放送をしています。



児童会選挙おわる

11月に入ってから、来年度の児童会役員選挙の取り組みが行われてきました。

5年生から、児童会長への立候補者が4名、副会長への立候補者が4名。この中から、会長が1名、副会長が2名、選出されます。

朝の時間や休み時間には、教室を訪問したり、校舎内や運動場を回ったりしながら、選挙運動をしてきました。

11月29日（金）に立会演説会と投票、開票がおこなわれ、来年度の児童会会長、副会長が決まりました。

3学期に入ると、新児童会本部を中心にして「6年生を送る会」の計画・準備が始まります。

土手の環境整備をありがとうございました



11月末の週末、いつもの年のように、桃園地区の方々により、大和川の土手の環境整備をしていただきました。

秋の終わりとは言え、この土手には雑木があちらこちらに伸びていて、歩道を歩きにくいところもありました。

今回、きれいにしていただいたことで、登下校で歩く子どもたちも、気持ちよく安心して歩けます。ありがとうございました。